

【北九州の鉄鋼・金属製品メーカーの例】

- a 鉄鋼製品と金属製品を85万トン製造・出荷しており、うち11万トンは輸出である。原材料として鉄鉱石、石灰石、化学薬品及び鉄鋼の中間製品を、合計で102万トン入荷している。入荷のうち、鉄鉱石、石灰石の全部と、鉄鋼の中間製品の一部の合計と合わせて79万8千トンは輸入である。(問2.出荷・入荷へ回答)
- b 国内総輸送量74万トンのうち、大阪府と兵庫県向けは、19万トン(四捨五入で全体の26%)を北九州貨物ターミナルから鉄道コンテナを利用して出荷している。(問2.輸送機関利用状況、問3.①出荷・鉄道貨物駅へ回答)
- c 福岡県内及び山口県、熊本県、大分県向けは、37万トン(全体の50%)を営業用トラックで出荷しており、高速道路を利用する場合は、北九州都市高速道路の戸畑インターチェンジを利用している。(問2.輸送機関利用状況、問3.①出荷・高速インターチェンジへ回答)
- d 東京都向けの大部分と、神奈川県向けの全ては、15万トン(全体の20%)を博多港からRORO船(ローロー船)を利用して出荷している。(問2.輸送機関利用状況、問3.出荷・港湾へ回答)
- e 北海道、宮城県及び東京都向けの一部は、3万トン(四捨五入で全体の4%)を福岡空港、北九州空港から航空を利用して出荷している。(問2.輸送機関利用状況、問3.①出荷・空港へ回答)
- f 鉄鋼の中間製品の国内からの入荷は、一部海運を利用しており、北九州港で荷揚げしている。(①入荷・港湾へ回答)
- g 入荷に際して高速道路を利用する場合は、北九州都市高速道路の戸畑インターチェンジを利用している。(①入荷・高速道路インターチェンジへ回答)
- h 海運による輸出は、神戸港(兵庫県)及び北九州港(福岡県)を利用しており、両空港への輸送は営業用トラックを利用している。(②輸出・港湾へ回答)
- i 航空による輸出は、関西空港(大阪府)及び成田空港(千葉県)を利用しており、両空港への輸送は営業用トラックを利用している。(②輸出・空港へ回答)
- j 鉄鉱石(輸入)は、北九州港で荷揚げしている。(②輸入・港湾へ回答)
- k 鉄鋼の中間製品(輸入)はコンテナ船で輸入されており、船卸港としては博多港を利用している。(②輸入・港湾へ回答)

● 例 回答例



全国貨物純流動調査

年間輸送傾向調査票(鉱業、製造業、卸売業)(令和6年4月～7年3月)



国土交通省

※	県No	業種No	事業所No	

(※印は記入しないで下さい)

ご記入にあたっては、「回答の手引」をご参照下さい。

問1-1. 貴事業所に関してご記入下さい。

事業所名		従業者数 (令和7年9月末日現在)	人	売上(収入)金額 (令和6年4月～令和7年3月) 製造業と卸売業が該当します。 消費税抜きでご記入下さい。	百万円	物流関係 担当部門	部
所在地	Tel. (市外局番) - () - () - ()	敷地面積 (令和7年9月末日現在)	m ²	現在の所在地 で操業を開始 した年	大正以前・昭和・平成・令和 50 年 (年については昭和34年以前は具 体的な年の記入の必要はありません)	ご回答者 氏 名	

問1-2. 令和6年度中に貴事業所では、事業所所在地において貨物の出荷・入荷を行いましたか。該当する番号を○印で囲んで下さい。
 なお、「2」に該当する場合には、以下の項目にお答えいただくことなく結構です。

1	貨物の出荷・入荷を行った。	2	貨物の出荷・入荷を行っていない。
---	---------------	---	------------------

「敷地面積」とは令和7年9月末現在で貴事業所が使用（所有または賃貸）している敷地の面積をいいます。なお、共同ビルの場合は、貴事務所の専用部分の延床面積をご回答下さい。

問2. 令和6年度における貨物の出荷・入荷について、品類別にそれぞれの重量(実重量)をご記入下さい。
次に、出荷については、品類ごとの輸送機関別重量割合(%……小数点以下四捨五入)をご記入下さい。
また、品類ごとの輸出トン数、輸入トン数をご記入下さい。

品 類 「品類・品目分類表」の品 類を参考にして下さい。	重 量 (トン)	うち輸出(トン)	輸 送 機 関 利 用 状 況(%)						
			合 計	鉄 道	自家用 トラック	営業用 トラック	海 運	航 空	その他
金属機械工業品	850,000	110,000	100%	26		50	20	4	
			100%						
			100%						
			100%						
			100%						
			100%						
合 計	850,000	110,000							

入 荷	品 類	重 量	
	「品類・品目分類表」の品 類を参考にして下さい。	(トン)	うち輸入(トン)
	鉄産品	780,000	780,000
	金属機械工業品	200,000	18,000
	化学工業品	40,000	
	合 計	1,020,000	798,000

輸送機関

①2つ以上の輸送機関で積替え輸送された場合は、その中で最も輸送距離の長い輸送機関を、それぞれの出荷の輸送機関とみなして下さい。

②輸出の場合は、貴事業所から輸出港湾または輸出空港までの輸送で、最も輸送距離の長いものを、それぞれの出荷の輸送機関とみなして下さい。ただし、貴事業所内の専用埠頭から輸出した場合の利用輸送機関は、「その他」として下さい。

③トラック、トレーラーなどによる輸送において、一部の区間でフェリーを利用しても（被牽引車のみの場合も含む）、輸送機関はトラックとします。

④営業用トラックとは、運送業者に委託するトラック輸送を指します。

⑤その他とは、パイプライン・ベルトコンベア・自走など、鉄道・自家用トラック・営業用トラック・海運・航空以外の輸送機関を指します。

「輸入」とは、貴事業所が独自に、または本社、親会社、商社等を通じて輸入したものを指します。

問3. 出荷・入荷(国内輸送)に際して、鉄道・海運・航空および高速道路を利用している場合、その主な利用鉄道貨物駅、港湾、空港、インターチェンジ名をご記入下さい。
また、輸出入を行っている場合、その主な輸出入(入)港、輸出入(入)空港名をご記入下さい。

①出荷・入荷(国内輸送)に伴う利用施設

施設	区分	鉄道貨物駅	港 湾	空 港	高速道路 インターチェンジ
出 荷		北九州貨物ターミナル	d 博多港	e 福岡空港 北九州空港	c 戸畑
入 荷		b	f 北九州港		g 戸畑

②輸出入に伴う利用施設

施設 区分	港 湾	空 港
輸 出	h 神戸港 北九州港	i 関西空港 成田空港
輸 入	j 北九州港 博多港	k

回答の手引にある「品類・品目分類表の品類を参考にしてご回答下さい。

貨物の実重量をトン単位でご回答下さい。
通常使用している数量でご回答の場合には
「回答の手引」を参考のうえ、ご回答下さい。

出荷・入荷（国内輸送）の際に利用した主な鉄道貨物駅名、港湾名、インターチェンジ名をご回答下さい。（複数回答可）

輸出・輸入の際に利用した主な港湾名、空港名をご回答下さい。(複数回答可)

出荷先地
輸出貨物については、輸出港湾・輸出空港の
所在都道府県を届け先としてご回答下さい。

問4. 問2. の出荷合計重量を100とした場合の貨物のお荷先地別重量割合(%：小数点以下四捨五入)をご記入下さい。

出荷先地	重量割合	出荷先地	重量割合
1 北海道	1	25 滋 賀	
2 青 森		26 京 都	
3 岩 手		27 大 阪	13
4 宮 城	1	28 兵 庫	22
5 秋 田		29 奈 良	
6 山 形		30 和歌山	
7 福 島		31 鳥 取	
8 茨 城		32 島 根	
9 栃 木		33 岡 山	
10 群 馬		34 広 島	
11 埼 玉		35 山 口	10
12 千 葉	1	36 徳 島	
13 東 京	12	37 香 川	
14 神奈川	10	38 愛 媛	
15 新 潟		39 高 知	
16 富 山		40 福 岡	22
17 石 川		41 佐 賀	
18 福 井		42 長 崎	
19 山 梨		43 熊 本	4
20 長 野		44 大 分	4
21 岐 阜		45 宮 崎	
22 静 岡		46 鹿児島	
23 愛 知		47 沖 縄	
24 三 重		合 計	100%

- 1.該当する年号に○印を付け、
操業開始年次をご回答下さい。
- 2.操業開始年次が昭和34年以前
の場合には、年次を回答する
必要はありません。

問5. 問2. の出荷合計重量を100とした場合の貨物の月別重量割合(%:小数点以下四捨五入)をご記入下さい

月	重量割合
4月	8
5月	8
6月	9
7月	9
8月	9
9月	9
10月	9
11月	8
12月	8
1月	8
2月	8
3月	7
合計	100%

1. 整数で記入し、北海道～沖縄の国内合計が100%になるようにして下さい。
2. 輸出貨物については、輸出港湾・輸出空港の所在都道府県を出荷地とみなして下さい。

